

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成20年度採択）

中間評価結果

番号	研究課題名	研究代表者	評価
20-1	サービスイノベーション型空間情報社会基盤に関する研究開発	東京大学 特任講師 関本 義秀	B

<研究の概要>

デジタル道路地図の迅速な更新を契機とするサービスイノベーションにつながるフラッグシップ的な実験プロジェクトを立ち上げるため、道路地図コンテンツの流通活性化のためのニーズと課題の整理を行い、地図更新情報の自動収集技術の開発を実施する。

<中間評価結果>

本研究は、制度・技術両面のバランスが重要であり、これまでの検討結果・課題等を整理した上で、実運用に結びつく新技術の開発を目指し、指摘事項に留意しながら、現行のとおり研究を推進することが妥当である。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 昨年度の指摘事項を踏まえ、研究全体のビジョンやどのようなコンセプトを持ったシステムを提案しようとしているのかを明確にしつつ、市町村の行政レベルで適用可能な研究開発を進めていただきたい。
2. デジタル道路地図更新は高いニーズがあり、本研究に係る行政の本来業務と研究開発活動の各領域を区分した上で、関係方面と連携しながら新技術の研究開発に特化してチャレンジングに取り組んでいただきたい。
3. 行政だけでなく民間も含めた幅広い観点から、関係する各主体のニーズや享受できるメリット、目指すシステム構造などを明確化した上で、最終年度に実施予定の本実験を研究成果に結びつけて完成度を高めていただきたい。